

# — 住学協同への実験 —

## 筑豊ゼミ研究会報 4月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第 20 号 2015 年 4 月 10 日

### 第28期筑豊ゼミ 開講式 式次第

2015年4月15日(水) 於:近畿大学産業理工学部ログハウス

19:00 開式のことば

19:05 祝辞・挨拶

近畿大学産業理工学部 学部長

荒川 剛

19:10 「第28期 筑豊ゼミが目指すもの」

筑豊ゼミ 運営委員長

菊川 清

19:15 祝辞

#### 筑豊ゼミ・研究会 紹介

19:20 市民遺産研究会

会長 白神 精一

19:26 独楽研究会

会長 笹原 泰史

19:32 若者(不登校・ひきこもり・非行)研究会

会長 野田 隆喜

19:38 ビオトープ研究会

会長 七條 真衣

19:44 情報発信/データデザイン研究会

会長 田中 翔

19:50 閉式のことば

19:52~20:00 休憩

20:00~20:50 第1回例会

各研究会に分かれて、今年度の研究活動方針等を話し合う。

なお、研究会所属未定の方は、5月の例会(5月20日)迄に決定して構いませんので、まずは、第一希望の研究会に参加してみてください。

# 第27期筑豊ゼミ・研究会活動方針

## 市民遺産研究会

会長 白神 精一

今期は課外活動を中心とし、事前に見学場所を設定し、その場所に関する資料(パンフレット・写真・記事等)を収集する。そして、事前に用意した資料と照らし合わせ、見学場所で各自が観光客目線で感じた良い点や改良点を見つけ出す。見学会終了後は事前に収集した資料や現地での写真や感じた事を網羅して筑豊ゼミ市民遺産研究会会員生による案内記事(強調した点・残念な点)を作成する。最後にHPへUPを行う。

上記の活動を年2回～3回行い、その内1回は筑豊ゼミ会員や一般の方を対象とした見学会を行いたいと思っています。

□ 手順

1. 見学場所設定
2. 資料収集(パンフレット・写真・記事等の収集)
3. 見学場所訪問(観光客目線で良い点や改良点を見つけ出す)
4. 報告書作成
5. HPへUPする。

## 独楽研究会

会長 笹原 泰史

研究内容については「日本の独楽資料館」にて一捻りで18分以上回る独楽(最長時間は20分)が出来上がりました。昨年は独楽の回転傾向について様々な調査を行いました。今期も引き続き、近畿大学の先生のアドバイスを頂きながら、いかにして長く回る独楽にするためには、どのような独楽にすれ良いのか科学的に研究し、27期でまだわからない独楽がふらついて起き上がる現象についてなぜ起こるのか、ガラス板の種類が独楽の回転に与える影響をもっと研究して解明できればと研究会を継続し、学会発表の為にデータづくり、及び学生さんの卒業研究のお役に立てればと思っています。それにより筑豊に独楽の街として全国に発信できる様に努力いたします。また各地区でのイベントに参加して独楽回しの指導を通じて独楽の普及をおこなって行きたいと考えています。

研究内容

- 1、 長く回るために、心棒の長さ、けんの高さ、ガラス等の研究
- 2、 筑豊を「独楽の街」と全国に発信できる方法について研究
- 3、 学会発表等の対外発表を通じて大名独楽をアピールしていきます。
- 4、 「日本の独楽資料館」及び各地区でのイベントに参加して独楽回しの指導を行う。

## 若者(不登校・ひきこもり・非行) 研究会

会長 野田 隆喜

27期において「ひきこもり研究会」として会を今期はさらにの深化を目指して「若者(不登校・ひきこもり・非行研究会)」としました。この3つの現象は筑豊においては全国平均をはるかに超える水準であり筑豊の未来を考える時に避けれない問題です。(実は我が国の将来に大きく影響する問題でもあるのです)

この課題の難しさは世代間・個人の価値観・そして家族のあり方や考え方でその理解は全く違います。場合によっては個人の責任を必要以上に指摘し追い込んでしまいやすく、また 家族ひいては「親」や「個人」の問題として片付けてしまいがちです。

仮に家族「親」の問題としても最終的には「様々な形での社会問題」となり ひいては市民全体の「問題」となることは自明です。

そこで会としては

- 1) 不登校・ひきこもり・非行 の3課題について課題ごとに学び理解に努力する
- 2) 参加者を獲得する狙いもあるがゲスト講師を招き公開講座をする
- 3) 何らかの形で研究成果をだす(何をするかは会員で協議)

## ビオトープ研究会

会長 七條 真衣

大学の建造物の建て替えが、耐用年数と耐震構造の面から計画されていますが、その際、大学構内に環境教育の一環としてビオトープの建設が計画されています。学生の立場からどのようなビオトープが良いか提言する為に、ビオトープに関する講演や見学(昨年は山口県にある[里山ビオトープニ俣瀬])などを行ってきました。

また、九州管理協会の大平 裕氏(1級ビオトープ管理士)から、本学部の周りに、池、川、林などもあり、ネットワークは十分形成されているようなので、校内にクヌギなどを植えればカブトムシなども呼び込める。また、正門の入り口斜面はこのまま保全されれば、下にはため池もあり、すでにビオトープになっているとのご意見を頂きました。

昨年度の見学会で、ビオトープについての知識があまりなく、ただ見るだけになってしまった反省から、28期では、ビオトープ内に生息している、生物、植物などを写真に収め、後でデータを整理し記録に残すことが重要で、専門家を講師に呼んで、説明を聞きながら見学をしていく予定です。

今年度の見学先として、北九州市の響灘ビオトープが候補に挙がっています。

戒田先生がアドバイザーとして設置された標記研究会は、下記に示す特徴に加えて、具体的な研究会運営について、以下の8点を計画している。

研究会をweb サイト保守・管理班と広報班に分けて運営する。

### web 班

□筑豊地域づくりセンターおよび筑豊ゼミのウェブサイトにおける毎月の研究会報のアップロードや開催行事の告知などの更新・管理作業を行うと同時に、ゼミ内外からの意見を反映しつつウェブサイトの視認性や機能の改善を行う。

□**Bootstrap** などのフレームワークを用いたウェブサイトの制作や改善を通じて、技術の学習・習得を目指す。

□ウェブサイトや Facebook, Twitter などの各ソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用を通じた情報発信や、動画制作班との連携を通じてより効果的な情報の発信・周知方法の研究を行う。

### 広報班

□多くの人に地域の活動を広報するため、福岡県で催されるイベント・各筑豊ゼミ研究会での活動より画像や動画を作成し、投稿する。

□撮影については、近畿大学にて設立されている写真部と連携を行い、研究会のゼミ生と写真部の部員でイベントの撮影に赴く。

□センター会員および筑豊ゼミの各研究会との連携を深める。そのために、研究会の日常的な活動はゼミ室などで頻繁に行うが、月に1回のまとめ(サマリー)を、ゼミ定例日の毎月第3水曜日の17時から行い、センター会員や筑豊ゼミ生が自由に参加できるようにする。(可能ならば、事前に連絡)

□研究会の費用は、センターから10万円をHP作成・維持費・動画作成費用として申請する。

## 第28期筑豊ゼミ年間スケジュール(若者(不登校・ひきこもり・非行)研究会を除く)

	日 時	場 所	運営委員会 於:市民交流プラザ
2015年 開 講 式	4月15日(水) 午後7時～9時	ログハウス	4月7日(火) 午後7:00～
5月例会	5月20日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	5月12日(火) 午後7:00～
6月例会	6月17日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	6月2日(火) 午後7:00～
7月例会	7月15日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	7月7日(火) 午後7:00～
8月例会	8月19日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	8月4日(火) 午後7:00～
9月例会	9月16日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	9月1日(火) 午後7:00～
10月例会	10月21日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	10月6日(火) 午後7:00～
11月例会	11月18日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	11月10日(火) 午後7:00～
12月例会	12月16日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	12月1日(火) 午後7:00～
2016年 1月例会	1月20日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	1月5日(火) 午後7:00～
2月例会	2月17日(水) 午後7時～9時	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	2月2日(火) 午後7:00～
修了式	3月16日(水) 午後7時～9時	ログハウス	3月1日(火) 午後7:00～

\*) 若者(不登校・ひきこもり・非行)研究会:開講式・修了式以外は、

原則 日時:毎月第2木曜日、午後7時～9時 場所:飯塚市市民交流プラザ(アイタウン2F)

## 第27期 筑豊ゼミ 修了式

平成 27年3月 18 日(水)午後 7 時、近畿大学産業理工学部ログハウスにおいて、第 27期筑豊ゼミ修了式が行われました。

平成 26年3月 19 日(水)午後 7 時、近畿大学産業理工学部ログハウスにおいて、第 26 期筑豊ゼミ修了式が行われました。荒川剛学部長からご祝辞を頂いた後、各研究会会長が 1 年間の研究の成果を発表しました。

小野正行 NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター副理事長、近畿大学情報学科准教授、戒田高康先生からご祝辞を頂いた。



荒川 剛 学部長



白神精一市民遺産研究会会長



笹原泰史 独楽研究会会長



発表する吉田朋紘さん



野田隆喜ひきこもり研究会会長



丸林 恵 pdd 研会長



市民遺産研究会の皆さん



主税事務局長



菊川運営委員長

# 情報交差点

筑豊での話題やイベント情報を掲載します。予告や結果報告等、皆様からの情報を待っています。

送付先 e-mail : [chair@chikuzemi.com](mailto:chair@chikuzemi.com)(運営委員長) : [sec@chikuzemi.com](mailto:sec@chikuzemi.com)(事務局長)

URL: <http://www.chikuzemi.com/>(筑豊ゼミ)

<http://www.chikuhou-jugaku.org/> (NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター)

## 王塚古墳(国の特別史跡)特別公開

4月18日(土)・19日(日) 9:30～16:00

福岡県嘉穂郡桂川町寿命 376 番地 TEL:0948-65-2900

『王塚古墳』は六世紀中ごろに作られたと考えられる、前方後円墳です。

昭和9年に福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命で、採土工事中、偶然発見され、多数の馬具、武器、銅鏡、装飾品、土器類を出土しています。最大の特徴は装飾壁画の壁面に赤・黄・緑・黒・白で描かれた鞍(矢筒)・盾・騎馬・星・双脚輪状文・わらび手文・三角文などの文様がところ狭しと配列されています。

その豪華絢爛さはわが国における装飾古墳の頂点として昭和27年に国の特別史跡に指定されています。

## 遠賀川流域古墳同時公開

<http://www.town.keisen.fukuoka.jp/ouzuka/contents/event/onga.html>

平成 27 年度春の公開日時;4月18日(土)・19日(日) 9:30～16:00

遠賀川流域の日頃見ることができない装飾古墳をはじめとする古墳や遺跡を王塚古墳の公開日に同時に公開しています。当日は、ボランティアによる解説や場所によって各種のイベントが催されます。次の遺跡・古墳が同時公開を行います。

### 1. 竹原古墳(国指定) 宮若市

【公開場所】宮若市竹原 734-3

6世紀後半に造られた円墳で、装飾古墳として有名である。さしば、波形文、船、馬を引いた騎馬スタイルの人物、龍、三角連続文が描かれ、玄室入口の右側に朱雀、左側に玄武が描かれている。

### 2. 水町遺跡群(県指定) 直方市

【公開場所】直方市大字上境 49-1

古くより横穴墓群として知られていた。平成6年～8年の調査により6世紀中頃～7世紀にかけての横穴墓が70基以上発見され、マウンドや線刻画装飾も2基から見つかった。

### 3. 川島古墳 11号墳(県指定) 飯塚市

【公開場所】飯塚市川島 407 外

川島古墳群のなかのひとつで、昭和62年に発見された装飾古墳である。円墳で復室の横穴式石室で全長6.7mを測る。壁画は奥壁に人物・三角文・円文が緑又は青と赤の2種類で描かれ、上部には石棚を持つ。

#### 4. 小正西古墳(県指定) 飯塚市

【公開場所】飯塚市小正

6世紀前後に造られた円墳で、径約29m、高さ約5.5mの大型のもので墳丘内に2つの石室をもつ。内部からは、馬具や武具、装飾品類等の出土品がある。又周溝内からは円筒埴輪片。また人物(巫女・馬子)、馬形、家形の形象埴輪が出土している。

#### 5. 沖出古墳(県指定) 嘉麻市

【公開場所】嘉麻市漆生78-1外

前方後円墳で全長68m、初期の竪穴式石室に舟形石棺を持つ。1987(昭和62)年の発掘調査で石釧、車輪石、鋏形石の三種の碧玉製遺物が発掘されている。

#### 6. 伊方古墳(県指定) 福智町

【公開場所】田川郡福智町伊方3946

田川地域では、最大級の横穴式石室である。復室で全長約11mを測る。花崗岩の巨石を使用して造られ、石材の間には粘土の目詰めを行うなど丁寧な造りである。

※国指定史跡「城山横穴群」は整備が終わるまで一般公開は行っていません。ご了承ください。

#### 7. 夏吉古墳群1・21号(市指定) 田川市

【公開場所】田川市大字夏吉2657外 19日(日)のみ公開

夏吉地区のロマンスヶ丘の南麓に、古墳時代後期の田川地域では最大の古墳群が分布している。1号墳は、玄室側壁に石棚を持っており、21号は、全長12.5mと田川地域では、伊方古墳と共に最大級の石室を持つ。

#### 8. 建徳寺2号墳(町指定) 大任町

【公開場所】田川郡大任町大字今任原1670

古墳時代後期の円墳で横穴式石室である。石室の天井石が無いので、石室内部が観察できる。出土品は、ふるさと館おおとうに展示されている。

#### 9. 戸山原古墳1号墳(町指定) 川崎町

【公開場所】田川郡川崎町大字安真木4974

6世紀週末～7世紀初頭に造られたと考えられる横穴式石室を有する円墳で、古墳の周りに溝が廻り、巨大な花崗岩で構成された玄室、前室が良好な形で残っている。

### 英彦山花園 シャクナゲまつり

<http://www.hikosan-slopecar.info/p4.html>

英彦山に自生をしている添田町の町花で日本シャクナゲの一つ「ツクシシャクナゲ」5000株を始め、高山植物を中心に植栽している英彦山花園にて、シャクナゲまつりを開催。

期日 4月18日～30日まで 期間中の土日祝日(4/18・19・25・26・29)には、

花園内のイベント広場にて特設テントを設置。英彦山で育ったヤマメの塩焼きや 猪汁ししの他、地元特産品の販売、シャクナゲ苗の販売(苗は西洋シャクナゲ 200鉢を準備!)など、各種イベントを開催。



## 上野焼恒例の「第 42 回春の陶器祭り」

<http://www.aganoyaki.or.jp/>

4月24日(金)・25日(土)・26日(日)

上野焼は、国焼茶陶として四約年余の歴史を誇り、国の伝統工芸品に指定されています。

福地山麓に点在する13窯元が湯呑、茶碗といった日常食器や鉢、花器などの品々を2割引きで販売するほか、スタンプラリー抽選会を開催します。

上野の里ふれあい市もイベント開催：<http://www.agano-fureai.com/web-content/event02.html>

## 第 22 回かち歩き大会

～飯塚市・桂川町・嘉麻市 浪漫ウォーク～

<http://www.e-kama.net/files/img412.pdf>

コダタイム・内野宿・旧伊藤伝右衛門邸など、地域の宝物を見てマイペースで楽しみながらの健康づくり。また、「黒田官兵衛」ゆかりの地を歩きながら簡単なクイズに答えたり、長崎街道・シュガーロードにちなんでお菓子文化の発祥の地でスイーツポイントに立ち寄り、お菓子を楽しむなど色々なコースが選べます。

2015年4月29(祝)【受付時間】7:00～8:45 ※コースにより異なります。

【会場】スタート・ゴール：イゾカコスモスコモン【駐車場】遠賀川河川敷駐車場をご利用ください。

【アクセス】西鉄飯塚バスセンター下車 徒歩約10分

Aコース：42.195km チャレンジウォーク

Bコース：28km 長崎街道ウォーク

Cコース：13km ロマンウォーク

Dコース：7.5km スイーツウォーク(先着500名)

【参加費】

(スイーツとウォークを同時に楽しむコース)

・高校生以上 事前1,000円 当日1,500円・小・中学生 事前・当日共に500円

・Dコース 高校生以上 事前1,500円 当日2,000円・小・中学生 事前・当日共に1,500円

・未就学児(要大人同伴) 無料

※お申し込みは必ず事前に登録して下さい。申込書：<http://www.e-kama.net/files/img411.pdf>

【お問合せ】嘉麻の里 夢・未来を考える会 TEL:090-3733-0077

ゴールの後は…B級グルメ in 嘉麻の里：ご当地グルメ「伝説ホルモン」・「嘉麻の釜めし」・焼き鳥・焼きそばなど多数出店。もちろん、かち歩きに参加させていない一般の方も大歓迎ですよ～！！

場所：コスモスコモン芝生広場 時間：11:00～17:00

発行：NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第28期筑豊ゼミ

責任者：第28期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者：第28期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 主税 洋三

住所：〒820-8555 飯塚市柏の森11-6 近畿大学産業理工学部気付 第27期筑豊ゼミ

連絡先：090-9485-5985 (運営委員長 菊川) 090-8624-2886 (事務局長 主税)

e-mail：chair@chikuzemi.com (運営委員長) sec@chikuzemi.com (事務局長)